

第129期  
株主通信

2016年4月1日▶2017年3月31日

証券コード：5191

”Global Excellent  
Manufacturing Company”を目指して

## CONTENTS

---

- P.1-4 株主の皆様へ トップメッセージ
- P.5-6 住友理工のコアコンピタンスとセグメント別概況
- P.7-8 トピックス
- P.9 連結決算の概要
- P.10 会社情報・株式の状況



住友理工株式会社  
SUMITOMO RIKO Company Limited

世界中で必要とされる

# “Global Excellent Manufacturing Company”

への飛躍を目指して



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。住友理工グループへの日頃のご愛顧に心より御礼申し上げます。

当社は1929年の創業以来、時代の方向性や市場ニーズを的確につかみながら、自動車用品から一般産業用品、健康介護などの新事業分野へと事業領域を着実に広げ、高付加価値の製品を世に送り出してきました。

モノづくり企業として長年にわたって培ってきたコアコンピタンス「高分子材料技術」「総合評価技術」を軸に、住友事業精神が謳う「信用確実」「不趨浮利」を忠実に守りながら、「安全・環境・コンプライアンス、品質(S.E.C.-Q.)」の取り組みを忠実に積み重ねていくことにより、世界中で必要とされる“Global Excellent Manufacturing Company”、すなわち「人・社会・地球の安全・安心・快適に貢献する企業」への飛躍を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、さらなるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役  
取締役会長

西村 義明

代表取締役  
社長

松井 徹

## 2016年度の業績について

当期における業績は、売上高4,226億30百万円(前期比0.4%減)、営業利益136億円(同5.7%増)、税引前当期利益133億円(同11.8%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益51億95百万円(同79.1%増)となりました。

当社グループを取り巻く経営環境のうち、主要取引先である自動車業界においては、米国で原油安などを背景にピックアップトラックや多目的スポーツ車(SUV)など一部車種が需要をけん引し、生産、販売ともに増加。欧州では回復基調が続く、さらに中国では小型車の減税措置の効果があったほか、SUVを中心に需要増加が続きました。一方で、南米は経済低迷の長期化により、不振が続きました。国内は、軽自動車は増税などの影響から減少しながらも、新型車効果などにより販売台数は前期を上回りました。

また、一般産業用品部門のうち、建機市場においては、内需が低迷しているものの、中国でのインフラ整備による公共投資の下支えにより、前期に比べ回復傾向にあります。一方で、エレクトロニクス分野の主要取引先であるプリンター・複写機などの事務機器市場は、低迷が継続しました。

このような中、売上高については、販売量は増加しながらも、海外事業における為替換算の影響が大きく、前期比ほぼ横ばいとなり、営業利益は円高によるマイナス影響が大きかったものの、前期に実施した欧州での事業構造

改善による影響があったほか、継続的なコスト削減活動(GCI活動)などにより、増益となりました。

## 2017年度の事業展開について

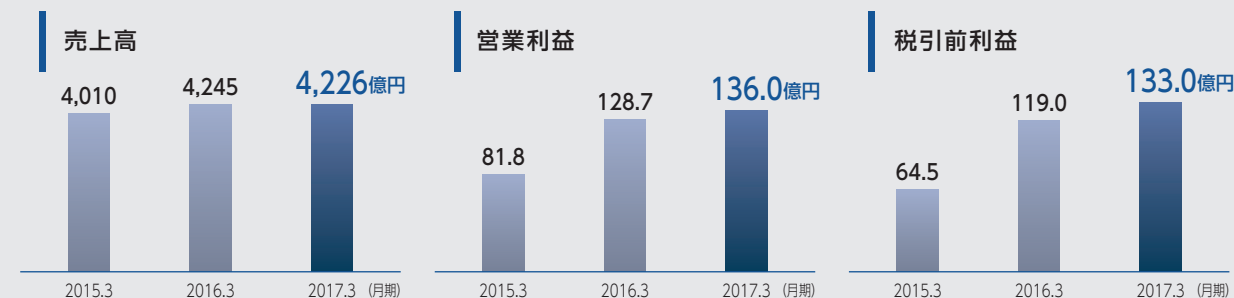
当社グループは、2020年度を最終年度とする中期経営ビジョン「2020年住友理工グループVision(2020V)」に基づき「自動車」「インフラ」「エレクトロニクス」「住環境・健康介護」の4分野に注力し、また、「着実な成長と体質強化」をテーマに掲げ、新たな成長戦略の遂行を進めています。

### 自動車用品部門

自動車分野では、従来取引のある日系自動車メーカー向けの高いシェアを維持しつつ、2013年に買収・子会社化したAnvis Group GmbH(Anvis社、現SumiRiko AVS Holding Germany GmbH)とDytech-Dynamic Fluid Technologies S.p.A.(Dytech社)とのシナジーを加速させ、海外自動車メーカーへの拡販に注力します。

Anvis社については、事業構造改善の効果などによって、2015年度より黒字化し、今後の収益拡大を見込んでいます。一方、Dytech社については、業績回復に向けて事業構造の改善に取り組んでおり、構造改革の一環として、イタリア・トリノ市にあるアイラスカ工場を同市近郊にあるキバツン工場に統合し、生産効率の改善に注力します。

### 業績の推移



また、北米などでの需要増加に対応するため、メキシコのS-Riko de Querétaro, S.A.P.I. de C.V.<sup>(※1)</sup>において新たな工場の稼働を開始したほか、国内では、山形県米沢市に設立した住理工山形株式会社<sup>(※2)</sup>が2016年6月に生産を開始しております。これら新拠点の稼働と合わせて、資源や人材の最適な配置、コスト削減の推進により、競争力の高い製品の供給体制の構築を図ります。

さらに、海外自動車メーカーへの販売体制の強化を図るために、ドイツ・フランクフルト市に「第2グローバル自動車営業本部」を新設し、日本との2本部体制を構築し、海外自動車メーカーへの拡販に努めます。

#### 自動車新商品開発センター

2020Vの経営戦略の1つ、「新規顧客開拓」を推進する体制を整え、「防振ゴム」「ホース」「ウレタン製品(制音部品・内装品)」の既存3分野以外の自動車用新商品を開発・育成していくために、「自動車新商品開発センター」を設置しました。体圧を検知する「スマートラバー(SR)センサー」を自動車のシートに埋め込み、呼吸や心拍などのバイタル情報によってドライバーの異変を検知、危険を回避する乗員状態検知機能の実用化に向けた開発や、電気自動車(EV)および燃料電池自動車(FCV)向けの環境対応製品の技術開発などを行います。

#### 一般産業用品部門

エレクトロニクス分野では、エレクトロニクス事業本部の中に、「ファインエラストマー事業部」を設置しまし

た。高機能精密ゴム部品<sup>(※3)</sup>の製造・販売を行う子会社の株式会社住理工ファインエラストマーとの一体運営を進め、自動車の電装化が進むことにより市場の拡大が予想されるシール事業のグローバル展開を推進します。また、フレキシ事業においては、欧州における新たな事業展開として、イタリア・トリノ市に生産拠点を設立し、2018年初めより稼働を始める予定です。

インフラ分野のうち、建設・土木機械向け高圧ホースについては、公共事業の復調により需要が旺盛となった中国で販売代理店会を発足させるなど、事業の拡大を推進しています。さらに、ローカルメーカーを中心とした海外建機メーカーへの販路拡大にも取り組んでいます。また、鉄道車両用防振ゴムにおいては、世界各地で開催されている展示会に積極的に参加し、知名度の向上を図るとともに、欧米の既存拠点を活用した拡販活動を進めています。

住環境・健康介護分野のうち、住環境事業においては、2016年4月の熊本地震以降、繰り返しの地震に強い「制震」による地震対策が注目を集める中、住宅用制震システムのラインアップに、2×4(ツーバイフォー)工法用の新製品を加えたほか、窓用遮熱・断熱フィルムのリフレッシュにおいては窓ガラスの飛散防止機能と住環境改善機能を両立しながら低価格化を実現した新製品を発売するなど、顧客のニーズを捉えた快適な住まいづくりに貢献しています。

健康介護事業においては、胸骨圧迫(心臓マッサージ)の訓練をサポートする胸骨圧迫 訓練評価システム「しん

のすけくん」をはじめ、体圧を検知する「スマートラバー(SR)センサー」を応用した製品群の開発・製品化を進めています。2017年3月には九州大学との共同研究を通じて開発された、体格や寝姿勢に応じて体圧を自動分散する床ずれ防止マットレス「SRアクティブマットレス 体圧ブンさん」を上市しました。引き続き医療や介護の現場でリハビリ支援などに活用できる「SRソフトビジョン」シリーズのラインアップを拡充し、「安全・安心・快適」な暮らしづくりを支える製品の開発・拡販に努めます。

#### 新事業開発センター

エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護分野の新事業開発を事業部門と連携し主導していくために、研究開発本部から新事業開発研究所を独立させ「新事業開発センター」を設置しました。各分野のニーズを把握し、テーマ化・事業化を推進します。

#### コンプライアンス強化

当社は昨年、社内調査の結果、当社子会社の株式会社住理工ホーステックスおよび住理工ホース販売株式会社が製造または販売した防衛省向けホース製品の検査成績書などについて事実と異なる記載のあることが判明したため、防衛省に報告しました。その結果、当該子会社2社が防衛省から3ヶ月間の指名停止措置を受けました。当社グループは、品質保証管理体制および内部統制監査体制の強化並びにコンプライアンスの徹底を図り、再発防止に努めてまいります。

#### 2017年度の見通しについて

次期の連結業績につきましては、売上高4,250億円、営業利益145億円、税引前利益135億円、親会社の所有者に帰属する当期利益65億円を見込んでいます。

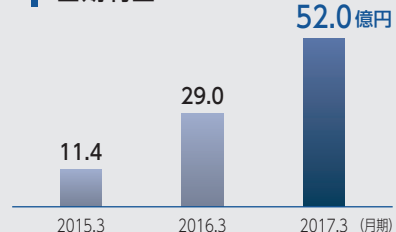
(想定為替レート  
1USDドル=100円 1ユーロ=110円)

今後の経営環境として、世界経済については、英国のEU離脱や米国新政権の経済政策による先行き不透明感がある中、欧州は緩やかな回復基調が継続し、長らく低迷が続いていた南米市場にも回復の兆しが見えつつあります。また、米国、中国での経済成長は引き続き底堅く推移すると予想されます。国内経済については、為替や原材料費の変動などの影響が懸念され、厳しい経営環境が今後も続くものと認識しています。

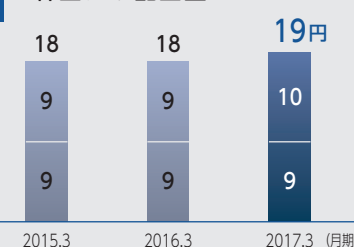
当社グループにおきましては、グローバルでの開発・生産・販売網を拡充・強化するとともに、原材料の調達や生産体制の見直しなどのコスト削減を進め、2020Vのテーマである「着実な成長と体質強化」のもと、「環境技術強化」「モノづくり革新」「新規顧客開拓」を戦略の柱として、引き続き企業価値向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 親会社の所有者に帰属する当期利益



#### 1株当たり配当金



#### 次期の見通し

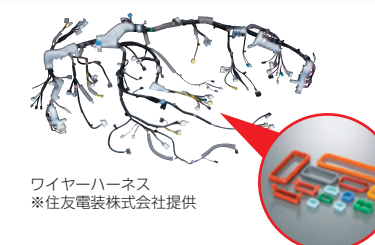
	予想	前期比
売上高	4,250億円	0.6%増
営業利益	145億円	6.6%増
税引前利益	135億円	1.5%増
親会社の所有者に帰属する当期利益	65億円	25.1%増



※1 稼働を開始したメキシコのS-Riko de Querétaro, S.A.P.I. de C.V.第2工場



※2 2016年6月に生産を開始した住理工山形株式会社

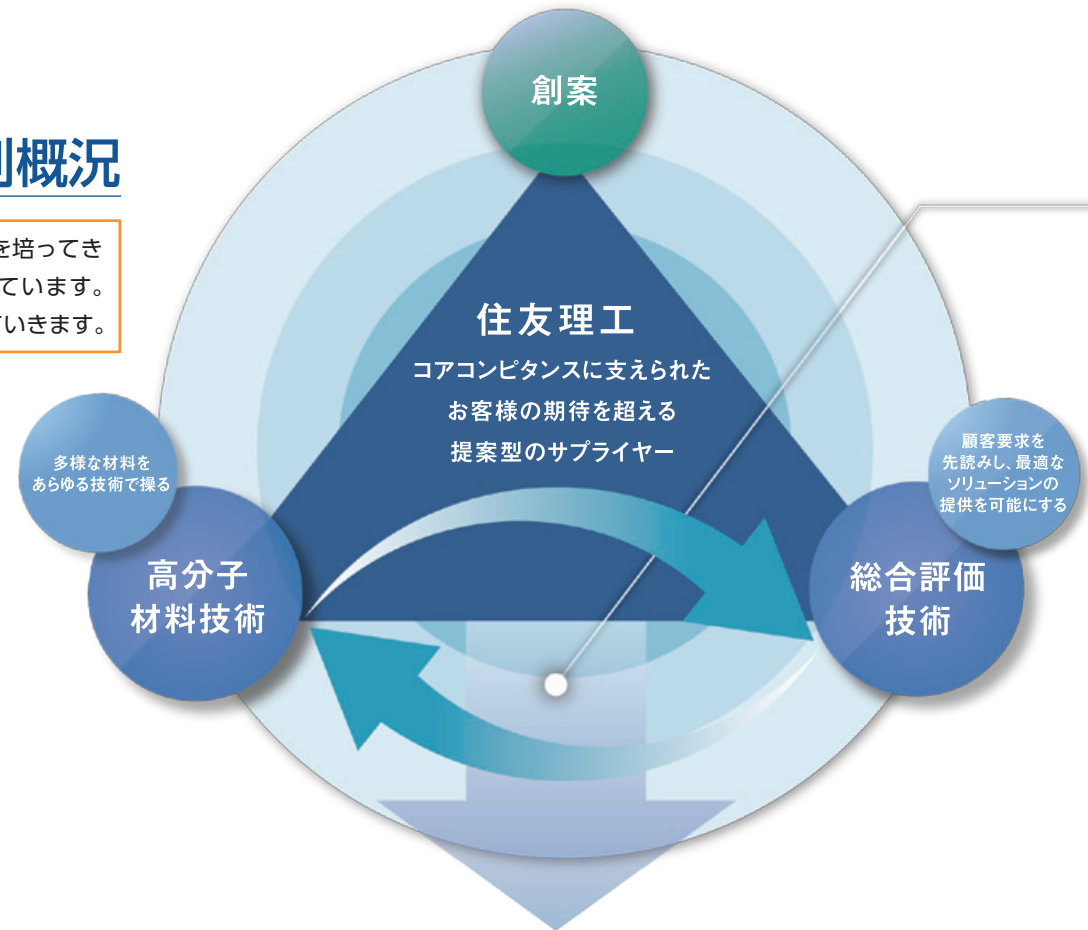


ワイヤーハーネス  
※住友電装株式会社提供

※3 ワイヤーハーネスをつなぐコネクタを防水するコネクタシール

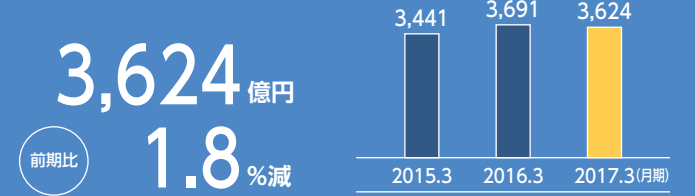
# 住友理工のコアコンピタンスとセグメント別概況

住友理工はこれまで、ビジネスを支えるコアコンピタンスとして「高分子材料技術」と「総合評価技術」を培ってきました。このコアコンピタンスが住友理工のモノづくり、競争力、社会への新たな価値提供を支えています。“Global Excellent Manufacturing Company”を目指し、住友理工はこれからも技術に磨きをかけていきます。



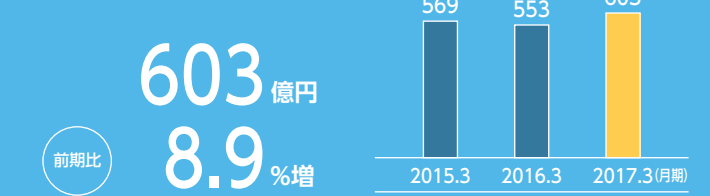
新規材料の創出と、製品評価から材料へのフィードバックを繰り返し、粘り強くお客様の要求にお応えします。

## 自動車用品 売上高



- 業績ポイント**
- 国内市場は自動車メーカーの新型車種の立ち上げや輸出増加に伴う生産台数増加により、生産・販売ともに回復
  - 海外市場は、米国での原油安などを背景としたピックアップトラックや多目的スポーツ車(SUV)などの一部車種の需要がけん引、欧州や中国でも需要増加基調になるも、為替換算が影響

## 一般産業用品 売上高



- 業績ポイント**
- インフラ分野の建機市場では内需が低迷するも、中国で建設・土木機械向け高圧ホースが増加、鉄道車両用防振ゴムも堅調に推移
  - 住宅部門は地震対策用制震ダンパーの国内需要が増加
  - エレクトロニクス分野ではプリンター・複写機などの事務機器市場低迷が影響



## 01 グローバル自動車 営業本部 2本部制を導入

ドイツ・フランクフルト市に「第2グローバル自動車営業本部」を新設し、2本部制を導入。第1グローバル自動車営業本部は日系自動車メーカー・部品メーカーを担当。第2グローバル自動車営業本部は、海外自動車メーカー・部品メーカーへの拡販を担当します。日本と欧州の2拠点体制とし、各メーカーとの緊密な関係づくり＝顧客密着活動を推進。全世界での拡販を加速させます。

## 03 新事業 開発センター新設

エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護分野の新商品開発を担う「新事業開発センター」を設置しました。マーケティング機能や事業企画機能を持たせることで、新商品の創出を加速させます。同センターは、昨夏開設した自動車新商品開発センターとともに当社の新商品開発をけん引します。

## 04 SRアクティブマットレス 体圧ブンさん 発売開始

当社独自開発の導電性ゴムでできた体圧検知センサー「スマートラバー (SR) センサ」技術を応用した床ずれ防止マットレス「SRアクティブマットレス 体圧ブンさん」を3月に発表しました。九州大学と当社による共同研究を通じて開発された本製品は、SRセンサが利用者の体圧を計測し、特に圧の高い箇所を検知。内蔵したエアセル (空気袋) が空気を加圧・除圧することで体圧分散を実施、床ずれ防止をサポートします。介護者による体位交換のケアをサポートするだけでなく、介護を受ける利用者への負担軽減も期待できます。



SRアクティブマットレス  
体圧ブンさん

## 02 上海国際モーター ショー2017に 単独初出展

4月に開催された上海国際モーターショーでは、高品質な製品を作り続けてきた当社のモノづくり力を、多彩な製品で紹介。また中国の生産拠点を生かし、中国に拠点を持つすべての自動車メーカーに向け迅速に提供できる製品開発・供給体制が整っていることをアピールしました。



中国での環境規制に対応した製品も紹介

## 05 窓用飛散防止、遮熱・断熱フィルム 低価格を実現した新製品を発売

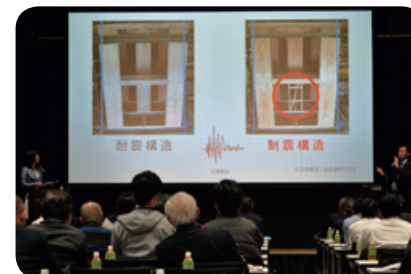
窓用フィルム市場で求められる事故や災害によるガラス破損時の飛散防止機能を持ち、さらに遮熱・断熱性能、紫外線カットの効果も併せ持つ窓用フィルム「リフレッシュ」の新製品「TW36」を3月に発売しました。フィルム構造の見直しにより低価格を実現しながら、室内の安全性向上、一年を通じて住環境改善、節電効果が期待できる「TW36」は、商業施設や病院、オフィスビルなど窓が多く、特に空調を多く使用する場所での効果を発揮、安全で快適な環境づくりに貢献します。



Refleshine  
リフレッシュ

## 06 木造住宅用地震対策システム 「TRC-2×4」を発表

昨春の熊本地震以降、本震後も続く余震に耐え、住み続けられる家づくりに対する意識が高まる中、木造住宅用制震システム「TRCダンパー」の新製品となる「TRC-2×4」を発表、建築・建材展2017に出品しました。また、東海地方の工務店・関係者を対象とした「地震に強い家づくりセミナー」を開催。地震から家を守る「TRCダンパー」を通じて、安心して暮らせる住まいづくりに貢献していきます。



「地震に強い家づくりセミナー」の様子。  
2017年は東京・大阪で開催予定。

## 07 健康経営優良法人2017 ホワイト500に認定

経済産業省と日本健康会議が2016年度から始めた認証制度「健康経営優良法人2017」の大規模法人部門「ホワイト500」に認定されました。当社は、従業員の健康管理は会社の重要な役割であると考え、製作所内に診療所とヘルスケア室を設置し、メンタルヘルスの取り組みや、ウォーキングなどの健康増進活動、ヘルスケア室による禁煙サポートなどの受動喫煙・禁煙対策などを行っており、それらの活動が評価されました。



(単位:百万円)

連結財政状態計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 (2016年3月31日現在)	当連結会計年度 (2017年3月31日現在)
<b>資産</b>		
流動資産	176,762	193,717
非流動資産	208,609	211,082
<b>資産合計</b>	<b>385,371</b>	<b>404,799</b>
<b>負債</b>		
流動負債	114,562	118,257
非流動負債	92,315	106,753
<b>負債合計</b>	<b>206,877</b>	<b>225,010</b>
<b>資本</b>		
資本金	12,145	12,145
資本剰余金	10,730	10,729
利益剰余金	135,324	139,474
自己株式	△ 268	△ 269
その他の資本の構成要素	1,962	△ 786
親会社の所有者に帰属する持分合計	159,893	161,293
非支配持分	18,601	18,496
<b>資本合計</b>	<b>178,494</b>	<b>179,789</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>385,371</b>	<b>404,799</b>

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	当連結会計年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,854	33,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 33,990	△ 32,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,106	10,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,084	1,531
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 7,326	12,873
現金及び現金同等物の期首残高	38,307	30,981
現金及び現金同等物の期末残高	30,981	43,854

連結損益計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	当連結会計年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>424,485</b>	<b>422,630</b>
売上原価	△ 357,219	△ 356,423
<b>売上総利益</b>	<b>67,266</b>	<b>66,207</b>
販売費及び一般管理費	△ 53,090	△ 52,106
持分法による投資利益	352	463
その他の収益	1,481	1,508
その他の費用	△ 3,142	△ 2,472
<b>営業利益</b>	<b>12,867</b>	<b>13,600</b>
金融収益	599	783
金融費用	△ 1,570	△ 1,083
<b>税引前当期利益</b>	<b>11,896</b>	<b>13,300</b>
法人所得税費用	△ 6,868	△ 5,844
<b>当期利益</b>	<b>5,028</b>	<b>7,456</b>
<b>当期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	2,901	5,195
非支配持分	2,127	2,261
当期利益	5,028	7,456
<b>1株当たり当期利益</b>		
基本的1株当たり当期利益(円)	27.94	50.04

決算短信などの詳細情報・最新情報は当社ホームページをご覧ください。

住友理工 IR

検索

会社概要

2017年3月31日現在

商号	住友理工株式会社 Sumitomo Riko Company Limited
設立	1929年12月
グローバル本社	愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋 電話(052)571-0200
小牧本社(本店)	愛知県小牧市東三丁目1番地 電話(0568)77-2121
資本金	12,145百万円
証券コード	5191
従業員数	連結 24,453名
主要営業品目	自動車用品部門 防振ゴム、ホース、制震音品・内装品等 一般産業用品部門 精密樹脂ブレード・ロール、 車両用・住宅用・橋梁用・電子機器用防振ゴム、 高圧ホース・搬送用ホース、ゴムシール材等

株式の状況

2017年3月31日現在

発行可能株式総数	400,000,000株	
発行済株式総数	104,042,806株	
株主数	4,965名	
大株主		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友電気工業株式会社	51,534	49.63
マルヤス工業株式会社	10,901	10.50
フコク物産株式会社	2,719	2.62
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVIO1	2,187	2.11
住友理工共栄持株会	2,061	1.99
住友理工社員持株会	1,721	1.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,472	1.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,216	1.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,194	1.15
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,002	0.97

注:「持株比率」は、発行済株式の総数から自己株式(212,483株)を除いて計算しております。

役員

2017年6月22日現在

取締役および監査役		
代表取締役 取締役会長	西村 義明	社外取締役 入谷 正章
代表取締役 社長	松井 徹	社外取締役 花形 滋
代表取締役	尾崎 俊彦	常勤監査役 岡田 茂弘
取締役	鈴木 洋治(新任)	常勤監査役 近藤 和雄
取締役	大橋 武弘	社外監査役 木村 壽秀
取締役	前田 裕久	社外監査役 増田 宏一
取締役	松岡 勉(新任)	社外監査役 長安 弘志
取締役	内藤 肇	

執行役員

執行役員副社長	尾崎 俊彦	執行役員	北村 浩一
専務執行役員	鈴木 洋治	執行役員	安田 白出吉
専務執行役員	大橋 武弘	執行役員	柴原 彰広
常務執行役員	前田 裕久	執行役員	和久 伸一
常務執行役員	松岡 勉	執行役員	高貝 淳
常務執行役員	内藤 肇	執行役員	仙田 弘二
常務執行役員	花崎 雅彦	執行役員	水上 勇夫
常務執行役員	南野 高伸	執行役員	永合 幹弥
常務執行役員	大島 司	執行役員	堤田 譲治
常務執行役員	矢野 勝久(昇格)	執行役員	増田 弘和
常務執行役員	オラフ・ハーン(昇格)	執行役員	森永 聡(新任)
常務執行役員	チャールズ・ランド・ラングラー(昇格)	執行役員	棚橋 洋昭(新任)
執行役員	野田 太郎	執行役員	流郷 健二(新任)

※社外取締役 入谷正章、花形滋の両氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
※社外監査役 木村壽秀、増田宏一および長安弘志の3氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

※社外取締役 入谷正章、花形滋、社外監査役 木村壽秀、増田宏一および長安弘志の5氏は金融商品取引所等の定めに基づく独立役員です。

**事業年度**

毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会**

毎年6月に開催

**基準日**

定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

**公告の方法**

当社のホームページに掲載

<http://www.sumitomoriko.co.jp/koukoku/index.html>

**上場証券取引所**

東京証券取引所、名古屋証券取引所

**株主名簿管理人および特別口座管理機関**

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人事務取扱場所**

愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**郵便物送付先**

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**電話照会先**

0120-782-031 (フリーダイヤル)

**インターネットホームページURL**

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### ■ 株式に関する住所変更等の お届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

### ■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である右記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、右記の電話照会先をお願いいたします。

### ■ 新企業広告完成 「リコウな未来、理工の技術で。」



住友理工の新しい企業広告ビジュアルが完成。メインコピーは「リコウな未来、理工の技術で。」と、住友理工の「理工」と「リコウ(利口)」をかけました。未来の世界に、当社が培ってきたモノづくりの技術を活用し、人々の安全・安心・快適な暮らしの実現に貢献したいという思いが込められています。新しいキャラクターは住友理工ブルーの色の髪をした可愛い少年。彼の持つ魔法のペンで当社の4つの事業分野を描きます。イラストになった自動車や新幹線などには、住友理工の製品が採用されています。振動や騒音を低減するなど、見えないところで豊かな暮らしづくりをサポートしている当社の技術を紹介しています。

**住友理工株式会社****■ グローバル本社**

〒450-6316 愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番1号

JPタワー名古屋

TEL. (052) 571-0200 FAX. (052) 571-0225

**■ 小牧本社(本店)**

〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地

TEL. (0568) 77-2121 FAX. (0568) 77-5341



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。